

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
企画 イースタンコミュニケーションズ
印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
八女市祈祷院 5 6 3 〒834-0025
HP : www.wing8.com/dc-city-yame/

「クラッシー」は毎月発行します。紹介したい地域の行事や趣味のサークル、愉快的仲間達その他読者を楽しくさせ、元気づけ人や社会のお役に立つ原稿を募集します。

11 NOV

	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
						3	4
12	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
くろぎふるさと日曜日 上陽ふるさと市 ○読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時～ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時～ ○赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎月第3水曜日 午前11時～ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第4木曜日 午前11時～		1 10月6日 先負中	2 7日 仏滅小	3 8日 大安 ●小	4 9日 赤口小	5 10日 先勝長
筑後市長旗少年野球大会 八女くろぎふるさと祭り (黒木)		8 13日 仏滅中	9 14日 大安大	10 15日 赤口大	11 16日 先勝○大	12 17日 友引大
6 11日 友引若	7 12日 先負中	8 13日 仏滅中	9 14日 大安大	10 15日 赤口大	11 16日 先勝○大	12 17日 友引大
13 18日 先負中	14 19日 仏滅中	15 20日 大安中	16 21日 赤口中	17 22日 先勝小	18 23日 友引小	19 24日 先負●小
ぶっくひろば2011 長谷川義史絵本ライブ (整理券が必要) (おりなす八女 小ホール) 八女黒木平ハーフマラソン (黒木) 環境フェスタ (サンコア)		22 27日 赤口中	23 28日 先勝中	24 29日 友引大	25 11月1日 大安●大	26 2日 赤口大
20 25日 仏滅長	21 26日 大安若	22 27日 赤口中	23 28日 先勝中	24 29日 友引大	25 11月1日 大安●大	26 2日 赤口大
南阿蘇水源ウォーク (八女歩こう会) 日向神ダム紅葉ウォーク (吉田ウォーキングクラブ) 笠原まつり (黒木町笠原) 木屋道場創立50周年記念 少年親善剣道大会 (筑後市広域公園 体育館)		29 5日 先負中	30 6日 仏滅中	心配ごと相談 (八女市) 八女市社会福祉会館 11月16日・30日 黒木町ふじの里 11月16日 上陽町地域福祉センター 立花町かがやき 法律相談 (要予約) 八女市社会福祉会館 11月11日 黒木町ふじの里 11月18日 上陽町地域福祉センター 11月25日 司法書士相談 黒木町ふじの里 11月11日 八女市社会福祉会館 11月18日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日／総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日／筑後市立病院		
27 3日 先勝中	28 4日 友引中	29 5日 先負中	30 6日 仏滅中	心配ごと相談 (八女市) 八女市社会福祉会館 11月16日・30日 黒木町ふじの里 11月16日 上陽町地域福祉センター 立花町かがやき 法律相談 (要予約) 八女市社会福祉会館 11月11日 黒木町ふじの里 11月18日 上陽町地域福祉センター 11月25日 司法書士相談 黒木町ふじの里 11月11日 八女市社会福祉会館 11月18日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日／総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日／筑後市立病院		
滝の宮不動尊縁日 (上陽町)	不動温泉の日			心配ごと相談 (八女市) 八女市社会福祉会館 11月16日・30日 黒木町ふじの里 11月16日 上陽町地域福祉センター 立花町かがやき 法律相談 (要予約) 八女市社会福祉会館 11月11日 黒木町ふじの里 11月18日 上陽町地域福祉センター 11月25日 司法書士相談 黒木町ふじの里 11月11日 八女市社会福祉会館 11月18日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日／総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日／筑後市立病院		

の給食費は四千円ぐらいとか。T子さんの心意気！さて現在「昭和29年6年生・I・うようになつて、恩がえしをしよう」

「大正ロマンミュージカル」を上演するので、ぜひ観劇を：との招待。一杯のコーヒからの唄で幕明きのドラマを見る糸口は一杯のソバから人生再開のドラマ出現。▼旧友の画家小幡英資さん、小学校の青年教師時代、編集の児童詩集『ともだち』を受贈。眼にとまった作「家計簿」。「うちの家計簿には、いつも私の給食費百五十円とついている。早く大きくなって月給をもらうようになつて、恩がえしをしよう」昭和29年6年生・I・T子さんの心意気！さて現在の給食費は四千円ぐらいとか。

暦をめくれば風は紅葉の色をぬけ身に沁む冬隣。▼さて、人生めぐりあわせの妙。村のソバ屋「まんどき」での食事中、「この村で教育長をしていたシイマドさんって、知りませんか」と、客の声。「ここにいますよ」と手を挙げた。23年ぶりの再会となる。平成元年、村制百周年を記念して村歌「ふるさと矢部」を制定、その発表会演出を依頼した音楽家井上寿夫さん。しばし、作詞の劇作家栗原一登氏、当時の若杉繁喜村長追悼談。今日は鯛生の田島山林業代表の招待で、昔を思い、なつかしく矢部廻りの途中でのこと。十月十日、博多、シアター「おくんち」で「大正ロマンミュージカル」を上演するので、ぜひ観劇を：との招待。一杯のコーヒからの唄で幕明きのドラマを見る糸口は一杯のソバから人生再開のドラマ出現。▼旧友の画家小幡英資さん、小学校の青年教師時代、編集の児童詩集『ともだち』を受贈。眼にとまった作「家計簿」。「うちの家計簿には、いつも私の給食費百五十円とついている。早く大きくなって月給をもらうようになつて、恩がえしをしよう」昭和29年6年生・I・T子さんの心意気！さて現在の給食費は四千円ぐらいとか。

冬近し時雨の雲も
ここよりぞ
燕村
暦をめくれば冬隣
詩人推窓 猛